

那珂川市図書館

オススメの1冊

『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』

川上 和人／著 新潮社 一般書【488.0カ7】

書の著者、川上和人さんは日本に約1200人しかいないといわれる「鳥類学者」です。

本のタイトルと「鳥類学者」がどのような仕事をしているのかに興味をわき、本書を読み進めたのですが、著者の仕事ぶりはまさに「探検家」です。

仕事場は小笠原諸島を中心に全国各地の島々。しかも無人島であることが多く、船が着岸出来る設備がないため、島の100m付近まで近づき後は泳いで上陸するそうです。

やっとの思いで上陸した後も、ハエの大群に襲われたり、落石のため寝る時もヘルメットが手放せないなど大変です。そんな過酷な環境の中、100羽近くの鳥のDNA分析を行う、体力的にも精神的にもハードな仕事です。

それを終始、飄々とした語り口調で、小さなギャグをふんだんに交えながら綴られているので、思わず笑ってしまいます。ですが、鳥に対する探究心は、ただの鳥好きではすまされない「鳥類学者」としての信念が伺えます。なぜ鳥は飛ぶのか、鮮やかな色彩の理由は？など、神秘的な鳥類の生態をわかりやすく解説しており、今まで誤解していた秘密も明かされます。実は、鳥が苦手な私ですが、最後まで引き込まれてしまいました。

みなさまにも、ぜひお勧めしたい1冊です。

那珂川市図書館司書（パンダ）